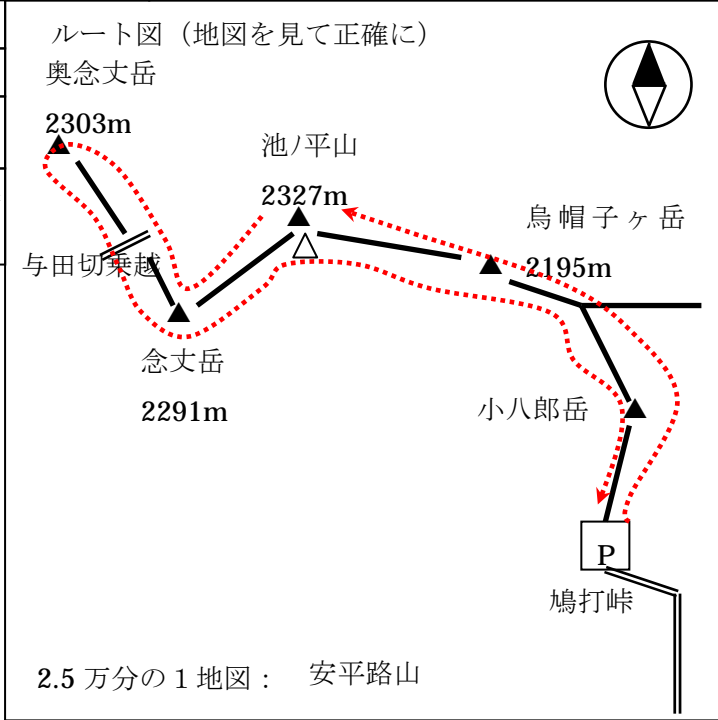


11月度 例会 山行報告書		報告者	中山 正夫	参加 メンバー	CL:中山正夫
山域		報告日	11/14		
山名	中央アルプス	山行日	11年 11月 3日 (土) ~		
	鳥帽子ヶ岳・奥念丈岳		11月 4日 (日)		

山行目的	バイクで念丈、奥念丈をめぐる	コースタイム (天候: 天気図記号)
------	----------------	--------------------

配布先
集会:12
山行: 1
リーダー
原紙: 集
会担当者



11/3(土)晴
02:30 自宅発
06:20 鳩打峠着:40 峠発
07:35~:50 休憩
08:40~:55 休憩(ナギ)
09:45~:55 休憩
10:40~:55 休憩
11:07 鳥帽子ヶ岳
11:25~:40 休憩
12:10~:20 休憩
12:40 池ノ平山頂着
11/4(日)晴れ
04:00 起床
05:45 テント場発
06:40~:55 念丈岳
07:25~:35 与田切乗越
08:55 奥念丈岳着
09:15 頂上発
10:10~:20 与田切乗越

11:25 念丈分岐
12:30~13:00 テント撤収
14:00 鳥帽子岩
14:45~:55 8 合目
16:05~:10 小八郎岳
16:55 鳩打峠着
21:30 自宅着

〈山行報告〉11/3(土) 2 時半に自宅をバイクで出発し、中央道松川 IC で降り鳩打峠に 06:20 にバイクを停める。6:40 から紅葉の登山道を歩きだす。小八郎をトバースして鳥帽子ヶ岳に向かう、荷物が重く日帰り組み大勢に抜かされるが、気にせずもくもくと歩く、8 合目からロープや鎖場の急登では足が上がらない。鳥帽子岩をトバースして、直接に鳥帽子ヶ岳 11:07 通過。展望は空木岳、仙崖嶺方面と越百山がよく見えている。ほとんどがここまでで日帰りが多い。誰もいない次のピークで休憩。ここからは、ゆるやかにアップダウンが続き針葉樹で展望なし。最期の大登で今回の最高点 2327m 池ノ平山 12:40 着。テント 10 張りは張れるところで、結局自分 1 張りのみ設営するが、木陰には雪が残っており、夜は寒かった、20 時就寝。11/4(日)4 時起床し、軽装備で懐電点けて 5:45 テント場発、約 1 時間で念丈岳 06:40 着。南アルプスの展望よし、少し戻り奥念丈への分岐から与田切乗越へ下る、途中の藪の中の木に草刈機が縛ってあった。(後で、念丈倶楽部のボランティアと判明) 藪はひざ上くらいに笹が刈ってあるが、雪と笹の幹がすべるので大変苦労する。乗越からの登りは、雪と笹で 3 歩進んで 2 歩下がるの、笹こぎラッセル状態バテバテで奥念丈岳 8:55 着。

帰りは乗越から念丈分岐までの登りで 3 回休んだ。12:30 にテント場の池ノ平山に帰り撤収し 13 時発。行きに寄れなかった鳥帽子岩は大きな前衛峰で面白かった。もう一つ行きに寄れなかった小八郎岳に行ったが、東屋と方位盤があり伊那盆地や、夕暮れの南アルプスが全部見渡せて、信州の秋を満喫した。鳩打峠には、懐電がいるくらい暗くなってから着

〈リーダー所見〉今回のルートは水場が無くて、水 3.5L + 酒 1.2L を担ぎ、ハンバーグや焼肉をやるためフライパンも持参した。さらに 2 人用テントが壊れたので、フライの 4 人用となったため、かなりの重量だったが、完登できて充実感はこの年のベスト 1 だと思う。中央アルプス南部の越百-奥念丈-安平路-摺古木とつながりよかった。鳥帽子ヶ岳もかつこよかった。

激敷に仰向け過呼吸奥念丈
一歩づつ落ち葉踏みゆき
いつか着く
夕暮れやテントにひとりみじろがず
この静寂はいずこより来る
世の中は我より先に用のある
人の足跡そま道の雪
沖仙

確認
(リーダー)
中
12/11/13
山
作成
(報告者)
中
12/11/13
山